

年産における農地の利用計画を申請します。
(年産における経営所得安定対策等の交付金に係る対象作物の作付面積等を申告します。)

作成者	氏名又は法人、組織名	フリガナ	フリガナ
	フリガナ		フリガナ
住所	(〒 -)	電話	
		FAX	
	経営形態 <input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 集落営農(構成員 人) <input type="checkbox"/> 法人		

交付申請者管理コード	共済加入者コード	農業共済加入状況(含加入予定)記入欄 ※加入している又は加入予定の場合は「○」を記入 農作物共済 畑作物共済
「水田・畑作経営所得安定対策」対策加入者管理コード		水稲 麦 大豆 そば てん菜 てん粉原料用ばれいしよ

水田農業高収益化推進助成関係			
高収益作物定着促進支援	開始年	R2	R3
	対象面積	a m	a m

農地の利用計画記入欄(農地転用を行った場合は、その転用面積は本地面積及び作付面積から除いてください)																							
農地の番号	地名・地番、大字、字、集落地番		交付対象農地区分(注2)	作期	面積(本地面積)		作物作付面積	作物名(注3)	自家消費該当	多収品種(注4)	品種名	地権者(権原を有する者)(注5)	改善計画の達成予定年	転換畑該当年月等(注6)	畑地化(注7)	水田農業高収益化推進計画該当(注8)	高収益作物定着促進支援開始年(注9)	うち加工・業務用(注10)	水田リノベーション事業(R2補正)対象(注11)	備考			
	耕地番号	分筆番号			住所地・氏名																		
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	
					a m	a m																	

- (注1) 一つのほ場で二毛作に取り組む場合は、ほ場欄を二段書きすることとし、「作期」欄において、主食用水稲又は基幹作物として作付した作物は「1」、二毛作として作付した作物は「2」と表記することで区別する。
- (注2) 「交付対象農地区分」欄は、交付対象水田は「1」、交付対象外水田は「2」、畑地は「3」と表記することで区別する。なお、畑地化に取り組む場合は、取組年度においては「1」を、取組の翌年度以降は「2」又は「3」を記入する。ただし、高収益作物畑地化支援に取り組む場合は、畑地化取組後であっても、高収益作物定着促進支援の支援期間においては「1」を記入する。
- (注3) 「作物名」欄には、主食用水稲(一般米、醸造用玄米又は種子用米生産ほ場)、麦(小麦(※)、二条大麦、六条大麦、はだか麦、麦芽原料用麦(ビール用麦等)又は種子用麦)、てん菜、てん粉原料用ばれいしよ(専用品種、その他)、なたね(食用植物油脂用、その他)、そば(普通そば又は種子用そば)、大豆(普通大豆、黒大豆又は種子用大豆)、飼料作物(青刈り稲、子実用とうもろこし、青刈りとうもろこし、その他)、米粉用米、飼料用米(生もみを直接利用する取組は「飼料用米・生もみ」、WCS用稲、加工用米、新市場開拓用米又は野菜等の作物名のほか、不作付地がある場合はその状態(調整水田、自己保全管理、土地改良通年施行等)を全てのほ場について記入する。 ※ 小麦のうち、ゲタの面積払に係る生産予定面積を申請し、かつ、「春まき」と「秋まき」の両方の作付予定がある場合、「春まき」と「秋まき」と區別して記載する。
- (注4) 「多収品種」欄には、区分管理で米粉用米、飼料用米の作付に取り組む場合において、多収品種を用いる場合は「1」、それ以外の場合は「2」と表記することで区別する。また、「1」の場合は「品種名」欄に品種名も記入する。
- (注5) 農地中間管理機構から農地を借り受けている等の場合は、農地中間管理機構の名称を表記する。
- (注6) 転換畑該当は転換畑〇年〇月、植栽造成は植栽〇年〇月、新規開田は新田〇年〇月等、必要に応じて記載する。
- (注7) 高収益作物の畑地化及びそれ以外の畑地化に取り組む場合は、対象年度を記入する。
- (注8) 水田農業高収益化推進計画の対象となる場合は、○を記入する。
- (注9) 当年度に高収益作物定着促進支援の対象に該当するほ場は、支援が開始された年度を記入する。
- (注10) 高収益作物定着促進支援に、加工・業務用の野菜・果樹で取り組む場合は、○を記入する。
- (注11) 新市場開拓に向けた水田リノベーション事業(R2補正事業)に申請したほ場は、○を記入する。

水稻生産実施計画書 兼 営農計画書

水稻単収	kg/10a
------	--------

用途	水稻用途別作付面積				
	農業者記入欄		担当者記入欄(確定値を記入)		
	出荷・販売契約数量	生産予定面積	出荷・販売契約数量	生産予定面積	作況調整後の出荷・販売契約数量
主食用米	kg	a m	kg	a m	kg
	kg	a m	kg	a m	kg
WCS用稲	kg	a m	kg	a m	kg
米粉用米	kg	a m	kg	a m	kg
(※1)新市場開拓用米	kg	a m	kg	a m	kg
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象を除く	kg	a m	kg	a m	kg
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象	kg	a m	kg	a m	kg
(※1)(※2)加工用米②	kg	a m	kg	a m	kg
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象を除く	kg	a m	kg	a m	kg
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象	kg	a m	kg	a m	kg
備蓄米	kg	a m	kg	a m	kg
合計		a m		a m	

※1 ①及び②については「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」に基づく契約数量等を記載すること。
※2 新市場開拓用米及び加工用米について、「うち水田リノベーション事業(R2補正)対象を除く」欄には、新市場開拓に向けた水田リノベーション事業(R2補正事業)に申請していない数量・面積を記入し、「うち水田リノベーション事業(R2補正)対象」欄には、新市場開拓に向けた水田リノベーション事業(R2補正事業)に申請した数量・面積を記載すること。

年産	申請年月日	年	月	日
----	-------	---	---	---

戦略作物等関係(水田活用の直接支払交付金対象農地のみ該当)		
対象作物	基幹作物作付面積	二毛作作付面積
麦(※1)	a m	a m
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象を除く	a m	a m
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象		
大豆(※1)	a m	a m
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象を除く	a m	a m
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象		
飼料作物(除くWCS用稲)	a m	a m
うち青刈り稲(※2)	a m	a m
うち子実用とうもろこし	a m	a m
うち青刈りとうもろこし	a m	a m
上記以外の飼料作物	a m	a m
加工用米(※1)	a m	a m
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象を除く	a m	a m
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象		
WCS用稲	a m	a m
米粉用米	a m	a m
出荷・販売数量(数量払い対象)	玄米	kg
	もみ	kg
飼料用米(生もみ除く)	a m	a m
出荷・販売数量(数量払い対象)	玄米	kg
	もみ	kg
飼料用米(生もみ)	a m	a m
水稲作付面積	a m	
差し引き面積	a m	

産地交付金関係(水田活用の直接支払交付金対象農地のみ該当)		
対象作物	基幹作物作付面積	二毛作作付面積
そば	a m	a m
なたね	a m	a m
新市場開拓用米(※1)	a m	a m
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象を除く	a m	a m
うち水田リノベーション事業(R2補正)対象		
高収益作物(※3)	a m	

水田農業高収益化推進助成関係(水田活用の直接支払交付金対象農地のみ該当)	
項目	基幹作物作付面積
高収益作物定着促進支援	a m
うち野菜	a m
うち加工・業務用	a m
うち果樹	a m
うち加工・業務用	a m
うち花き・花木	a m
うちその他の高収益作物	a m
高収益作物畑地化支援	a m
その他畑地化支援	a m
子実用とうもろこし支援	a m

※1 麦、大豆、加工用米及び新市場開拓用米について、「うち水田リノベーション事業(R2補正)対象を除く」欄には、新市場開拓に向けた水田リノベーション事業(R2補正事業)の交付対象となっていない面積を記入し、「うち水田リノベーション事業(R2補正)対象」欄には、新市場開拓に向けた水田リノベーション事業(R2補正事業)の交付対象となった面積を記載すること。
※2 青刈り稲には、飼料作物以外のわら専用稲等を含む。
※3 産地交付金関係欄の高収益作物は、園芸作物等のうち、産地交付金の支払対象(見込み含む。)となっている面積を記入する。

記入欄

〇交付金に係る面積については、現地確認等を踏まえて確定面積等を記入
水田活用の直接支払関係「地域農業再生協議会担当者記入欄」